

星空だより

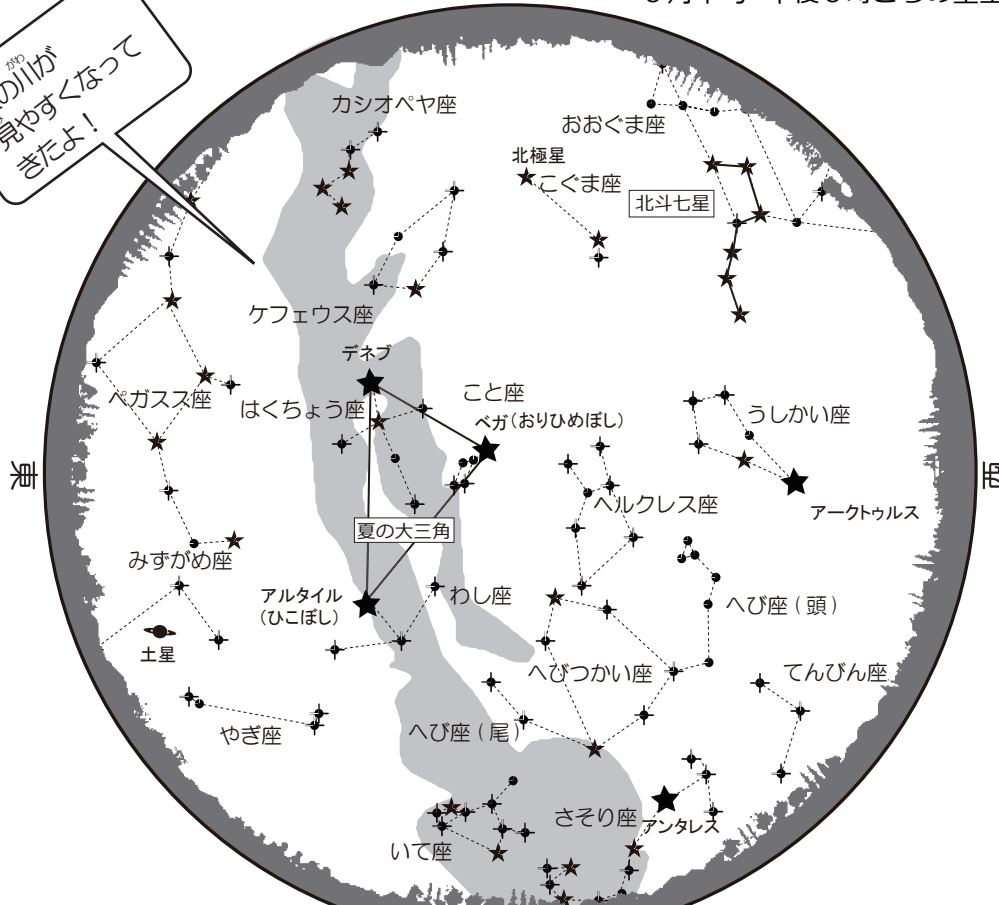
2023年8月
No.153
富山市科学博物館



北

8月中旬 午後8時ごろの星空

天の川が見やすくなってきたよ!



西

東

南

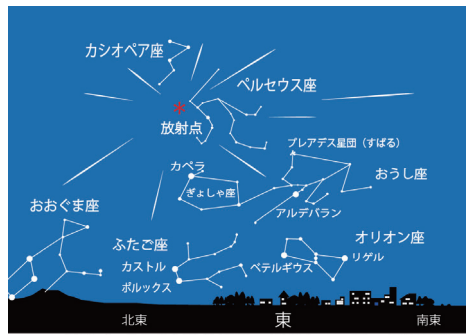
見たい方角がもた下になるように持ってその方角の空を見てね。

〜今月のお月さま〜

8月 2日	満月	○
8月 8日	下弦	◐
8月 16日	新月	●
8月 24日	上弦	◑
8月 31日	満月	○

注目 流れ星を見てみよう

8月13日は流れ星が多く流れるペルセウス座流星群の極大日です。今年(ことし)は13日の夜中から14日の明け方(がた)にかけてがいちばん多く見られ、また月がないため大変よく見えます。街明かりの少ないところで(そらぜんたい)空全体を見るようにしましょう。夜(よる)は寒(さむ)くなりますので、あたたかい服装(ふくそう)でみて下さいね。



ペルセウス座流星群 8月14日 3時頃

黄道十二星座紹介 ☆いて座 ☆



いて座は、人と馬(うま)が合わさったような姿(すがた)をしていて、ギリシャ神話(しんわ)ではケイローン(ケイローンは頭(あたま)がよく、戦(たたか)い方や病(びょうき)の治(なお)し方(かた)などを多くの英雄(えいゆう)たちに教(おし)えたことから、ケイローンの死(し)を惜(お)しんだゼウスにより、星(せいざ)座(ざ)になりました。

※黄道(こうどう)十二星座(せいざ)って？
太陽(たいよう)の通り道(とちみち) (黄道) に沿(よ)って並(なら)んだ12個(こ)の星(せいざ)座(ざ)のこと。誕生(たんじょうび)日の12星(せいざ)座(ざ)としてよく知(し)られています。

毎週(まいしゅうど)土曜日(とようび)、事前(じぜん)申込み制(せい)で開催(かいさい)中(ちゆう)。

星空(せいこう)観(かん)察(さつ)会(かい)

詳しく(くわ)はウェブサイト(らん)を(を)覧(らん)ください。

今月の さがしてみよう

夏の大三角



夏の大三角を探してみましよう。まず頭の真上にひときわ明るい星、こと座のベガ（おりひめぼし）を見つけます。ベガの南東の明るい星がわし座のアルタイル（ひこぼし）です。この2つの星と東側にある明るい星、はくちょう座のデネブをつなぐと「夏の大三角」です。空の暗いところに行くと、三角形の中にぼんやり天の川を見ることができます。

今月のオススメ星座！



わし座
七たの彦星であるアルタイルが目印です。アルタイルとは「飛ぶワシ」という意味で、アルタイルを挟んで二つの星が一直線に等間隔で並んでいる様子を飛んでいるワシに見たてたところからその名がつけました。



はくちょう座
夏の大三角の一つである一等星デネブが目印です。天の川の中にきれいな十字を形作っています。くちばしの星はアルビレオといい、肉眼では一つの星に見えますが、望遠鏡で見るとオレンジ色と青色の2つの星に見える二重星です。

天文コラム

伝統的七夕

七夕といえば7月7日ですが、これとは別に「伝統的七夕」があります。

伝統的七夕というのは、昔の暦での7月7日にあたる日です。今の暦では日にちが毎年変わり、今年は8月22日になります。この日の夕方は半月のような月が南西の空にあり、21時過ぎに沈んで、その後は南の空に天の川が見えてきます。



伝統的七夕の日は梅雨明けしているので晴れやすく、また7月7日に比べておりひめぼし、ひこぼしが高く昇っているため、より七夕の星が見つけやすいでしょう。